

DMSS スマートフォン監視ソフトウェア

簡単マニュアル Version 1.4



令和 8 年 1 月



〒173-0015 東京都板橋区栄町 7-17
TEL:03-6909-6442/FAX:03-6909-6443

目次

1	概要	1
1.1	概略紹介及び仕様変更重要内容	1
1.2	特徴	1
1.3	互換モデル	1
2	ダウンロード及びインストール	2
	2-1A手順(スマホ初回ソフトインストール時操作)	3
	2-1B手順1(P2P設定時の操作方法等)	4
	2-2手順2(P2P設定時の親になった場合の操作方法等)	6
	2-3P2P設定時の重要内容	8
	2-4アカウント削除	8
	2-5特記事項1, 2	10
3	操作(下図はDMSSの参考図ですが、同様の操作になります。)	12
3.1	ホーム画面	13
4	双方向操作時に於ける注意	22

1 概要

1.1 概略紹介及び仕様変更重要内容

この説明書はスマートフォンで最小限度の操作を行い、閲覧する為のマニュアルです。

このソフトウェアは従来 iOS 及び Android と別々であったiDMSS は Ios 及びgDMSS は Android に対応していた物を共通化したものです。→DMSSへ統一

- ◎重要事項「DMSS」に於いて、メーカー曰くセキュリティ強化の為、仕様が変更になりました。→2025/10/21より実施(自動的にスマホソフト更新)
アカウント登録とログインが必須になり、P2Pの場合はこの対応がとられていないと登録できません。→IP/ドメインは対象外
- ◎10/20以前に登録されているものは、対象外ですが、新規にスマホにインストール時は、アカウント登録をしなければスマホにインストール不可
- ◎最もセキュリティ強化されたのは、親に当たる最初に登録した方の許可が無いと各個人のスマホに登録できません。→16人までです。(P2P設定)
★親にも色んな通知が来ます。
★勝手に登録を試みると自分自身に警告文メールが配信されます。
- ◎本説明書は、その辺の解説を入れております。

1.2 特徴

このソフトウェアは以下の特徴を持っています：

- 最大 16 画面の複数チャンネル監視及び再生が可能。
- プレビュー画面で即時再生可能。
- 早送り再生、スロー再生、フレーム送り再生が可能。
- ローカルスナップショット及びレコード可能。付随するファイルはローカルで保存。
- タッチスクリーンのスライドで PTZ コントロール可能。
- 映像画面調整及びビットストリーム調整可能。
- アラームプッシュ可能。
- アラームプッシュ機能用にスマートフォンからアラーム出力コントロール可能。
- 双方向通話可能。
- 画像の異なる部分を見るためにズームイン／アウトする SmartPicture 機能が可能。
- チャンネル解像度及びフレーム設定、及びHDD 情報の表示可能。

1.3 互換モデル

Android	Android 7.0 以上
iphone	IOS112.5.7 以上

2 ダウンロード及びインストール

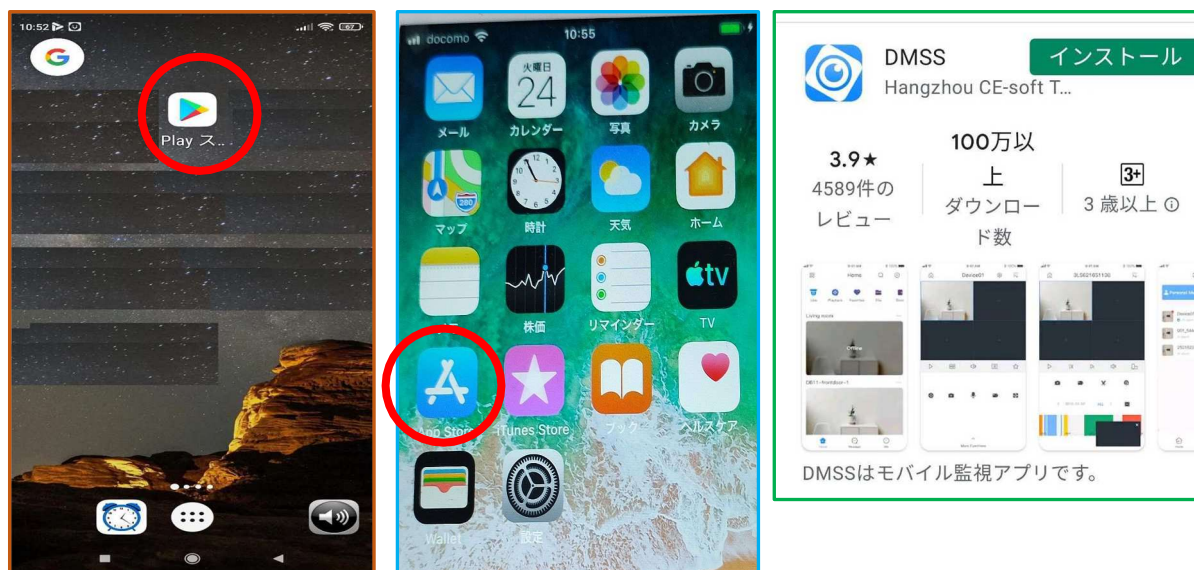
スマートフォンには Android と iOS の種類があります。

Android :

スマートフォンの “Google Play” アプリを開き、「DMSS」を検索してダウンロード及びインストールをします。

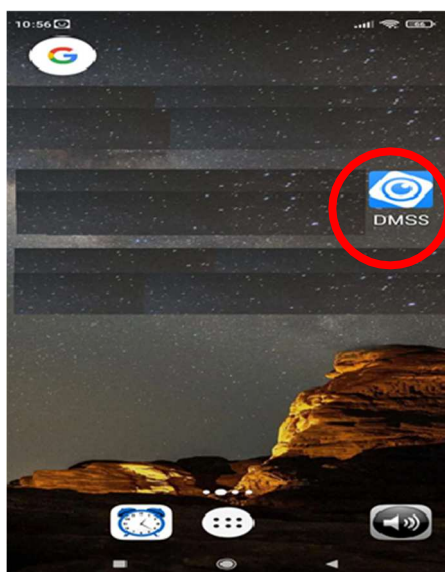
iOS :

スマートフォンの “App Store” アプリを開き、「DMSS」を検索してダウンロード及びインストールをします。



◎インストールする時、スマホパスワード及び個々の質問等を聞いてきますので、自分の機器に合わせた設定等行い、「DMSS」をインストール願います。

◎インストールが成功すると下図の様に、スマホ画面に「DMSS」のショートカットができます。



★初回操作

1 回だけですが、ショートカットをクリックしますと、国の入力及び質問事項が要求されますので、画面に合わせて入力のこと。

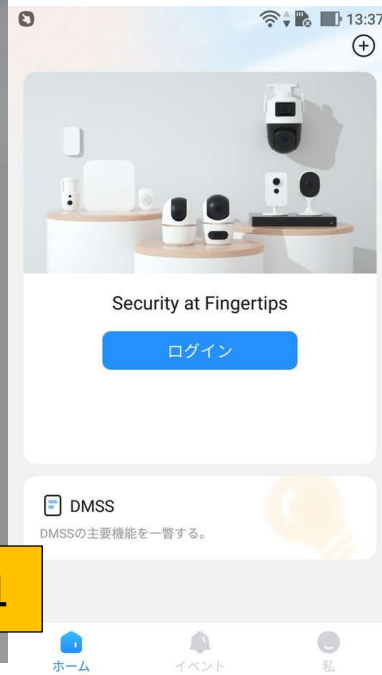
2-1A手順(スマホ初回ソフトインストール時操作)



スマホ初期インストール完了

2-1B手順1(P2P設定時の操作方法等)

- 1) DMSSを展開すると図1の様になります。
- 2) IP/ドメインは、⊕をクリックして項目設定をすれば良いです。
- 3) P2Pの場合は、ログインをクリック。



- 4) P2Pの場合は、ログインをクリック。
- 5) 図2の項目で、メールアドレス/ログイン/PWを設定します。
- 6) 図3,図4の流れで設定していきます。



任意の管理PWを入力

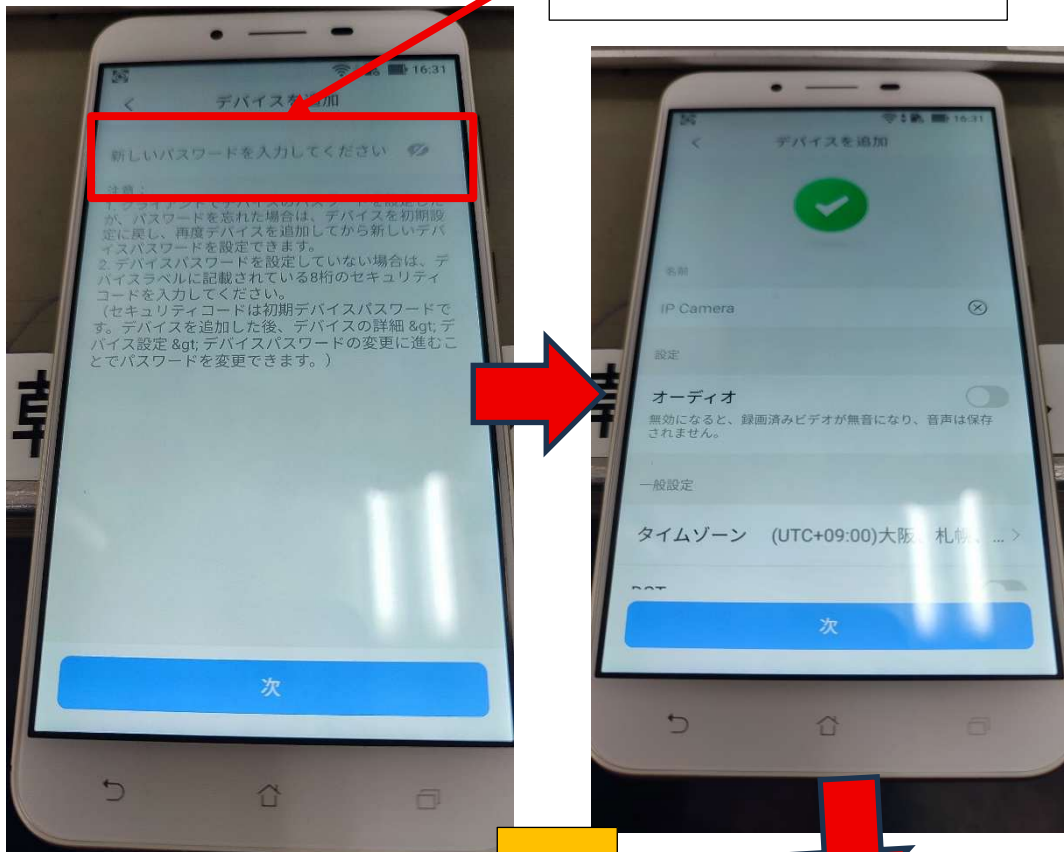


図4



7) 図4の流れで、最後OKであれば上図の様に映像が映る。

2-2手順2(P2P設定時の親になった場合の操作方法等)

※16名の登録ができます。

- 1)子が親に無断で登録を試みると、図5の様な警告が子の登録者スマホ画面に表示されます。→この時のS/Nを親に連絡
- 2)その為、親は、子からの登録許可願い連絡が来ますので、下記手順操作を実施して、許可をする必要があります。



- 3)親は子からの登録許可願い連絡を受けたら、図6の赤色○をクリック。その後、赤色四角枠の「デバイスを共有する」をタップします。
- 4)図7の様に共有依頼者のメールアドレス又は、電話番号を入力して、共有をタップします。
- 5)相手への権限項目が表示されるので、内容に沿って可否項目を選択する。



6)問題が無ければまた共有をクリックします。

7)設定に問題が無ければ、図8の表示になりますので、完了をタップします。



8)親が完了すると、図9のメールアナウンスが子の携帯に飛んできます。

9)子のDMSSのリストに赤色四角枠の様に依頼したカメラ(DVR)が自然に作られます。

10)仮に不要になった場合は、●●●をクリックして削除しますが、再度必要の場合は、上記1)～8)の同じ手順で、親に申請が必要になります。

2-3P2P設定時の重要内容

- ①例えば、顧客様の依頼を受けてカメラ機器の設置工事業者が動作確認をするためにスマホP2P登録をすると、その登録が親になりますので、動作確認後登録を消し忘れると、顧客様のスマホでの登録ができなくなりますので、必ず消す事を忘れない様にする必要があります。
- ②今度の変更で、親及び子は、セキュリティー上メールアドレスのやり取りが多くなりますので、アドバイスとして、キャリアメールではなく、フリーメール等が良いと思います。→DMSSのアカウント登録時のメールアドレス。

2-4アカウント削除

★色々触って、アカウントを削除したい場合もあると思いますので、その内容について触れておきます。



- 1) 図10の右側赤丸の「私」をタップします。
- 2) 次に中央の大赤丸の1887をタップします。
- 3) 左側の赤色四角枠のアカウント削除を選択します。
- 4) 図11の様に絵が出てきますので、三枚同じものを選択してクリック
※失敗すると絵が変わります。

5) 図12の様な流れになります。

- ① 図11の絵が揃うと、アカウント登録に設定したメールアドレスに解除数字が配信されます。(6桁数字)赤色四角枠
- ② 黄色四角枠にその数字を入れます。
- ③ アカウント削除ログインの画面が出ますので、画面を✕で閉じれば完了です。

※これにより、P2P設定は新たに登録できなくなります。

※再度ログインする場合は、P2P設定のQRコードを読む動作をすると、ログイン要求表示がでます。

図11



◎この様に複雑な操作になりますので、親/子に当たる方は、操作を理解して操作して頂く事になります。

2-5特記事項1

次の方法は、子が全員の(親を含めて)設定した機器を削除することができます。

この操作は非常に危険な操作になりますので、何らかの理由で操作する場合は、16人全員の了解を得る必要があります。

★この操作は、親が自分自身の登録したスマホを紛失した場合になります。



- ① 上図の図Aの赤色四角枠の「解除のリクエスト」を選択
- ② 図Bの機器のPWと削除選択を有効にしてすぐに解除を選択。
- ③ 図Cの様に削除すると全員のスマホに登録していた、消す機器が削除されます。⇒完了をクリック

2-5特記事項2

下記に参考として記しておきますが、この方法は自己責任でして頂き、これによるトラブルは、責任は負えませんのでご承知ください。

- 1)DMSSには、タブレット向けとして「DMSS HD」という物があり、2025年10月23日現在、スマホ用のP2P規制(アカウント登録/ログインは)受けておりません。
- 2)メーカーからの10/24回答は、変更予定なしとの事。



- 3)このものは、従来の仕様のままで親/子の規制は受けません。
- 4)図13の様に操作すれば、P2P機器も従来と同様に閲覧できます。
- 5)単画面や分割画面も同様に可変できます。



図13

赤色○部をクリックすると回転します。

3操作(下図はDMSSの参考図ですが、同様の操作になります。)

- 1) 図 3-1 のホーム画面が基準となる画面で。ライブ/録画,再生/機器追加等の操作を行う元になる。
- 2) 図 3-1 の赤色○印の場合は、クリックするとホーム画面に移動する。
- 3) 図 3-1 の青色○印の場合は、何回かクリックするとホーム画面に移動する。

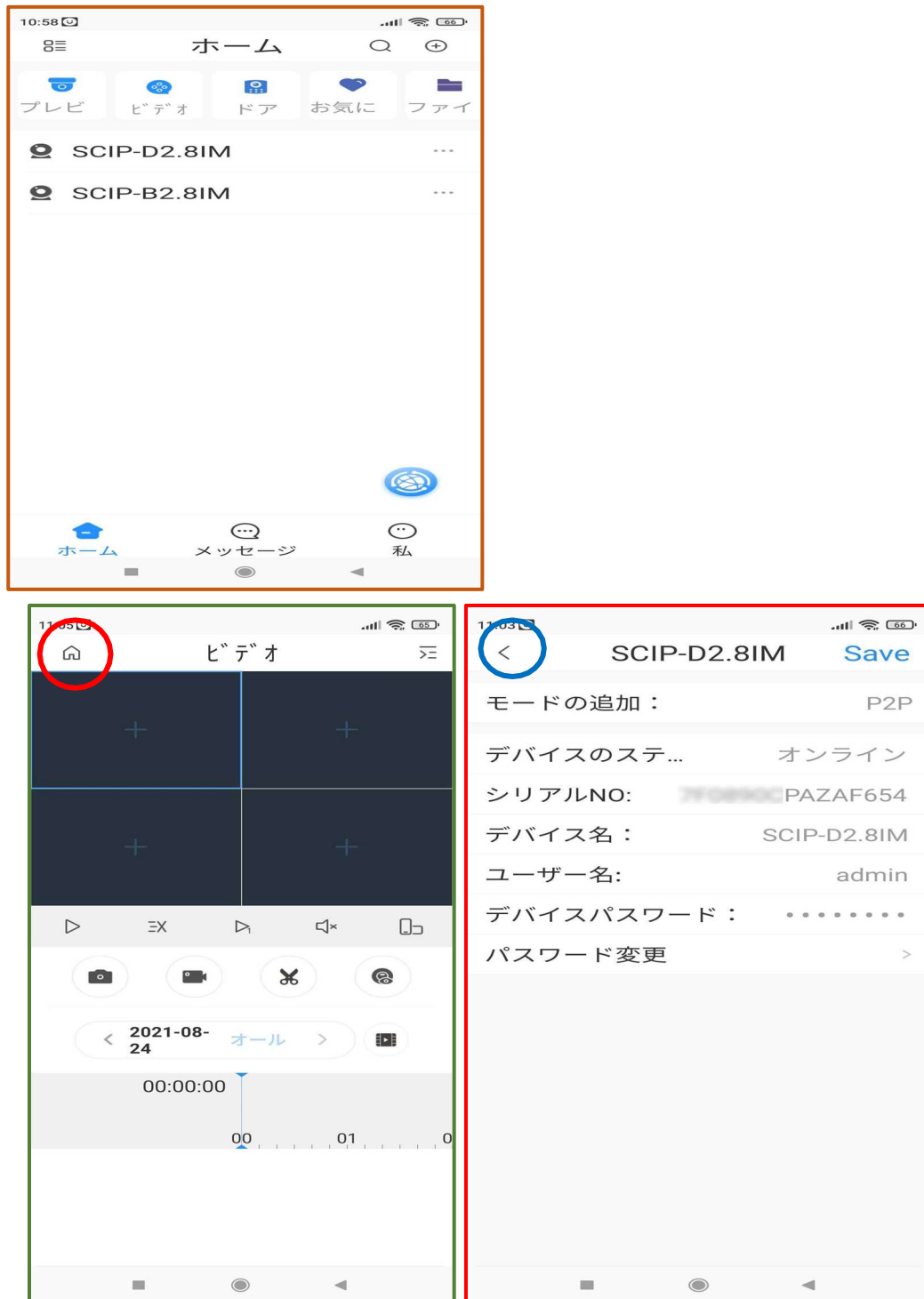


図 3- 1

3.1 ホーム画面

(図 3-2)がメインメニューになるので、ここからの操作になります。

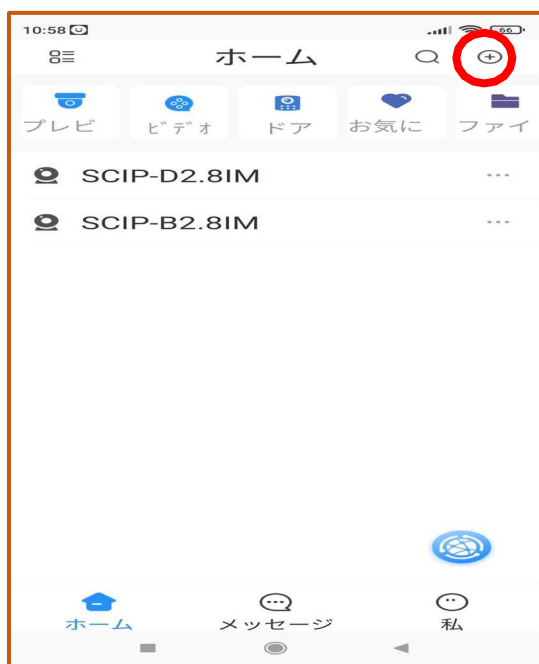


図 3-2

1) 閲覧したい DVR 又は、カメラ登録方法

1-1)左図の赤色丸印(+)をクリックします。

1-2)図 3-3 により、SN/スキャン or IP/ドメインを選択します。

★SN/スキャン→P2P 方式登録

1-3)図 3-4 により QR コードを読んで SN 登録をします。

1-4)次へを押して、図 3-5 の該当する物を選択します。

1-5)スマホ画面に沿って操作します。

1-6)順調ならば、図 3-6 画面に行きますので、機種名と PW を記載して「Save」する。

1-7)図 3-7 画面の様に設定したカメラ映像がみれます。



図 3-3

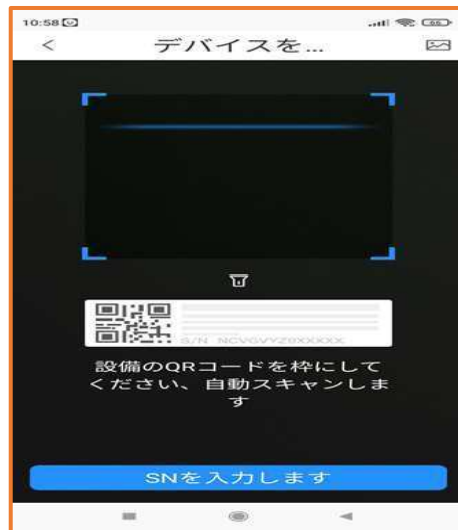


図 3-4



図 3-5

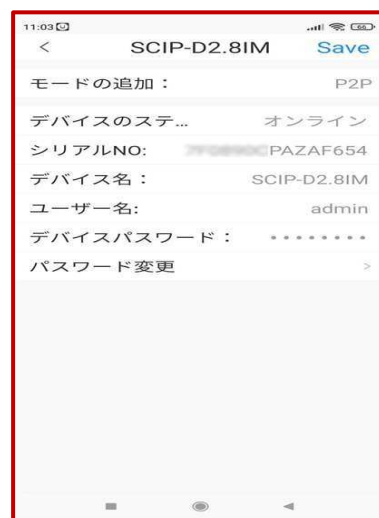


図 3-6

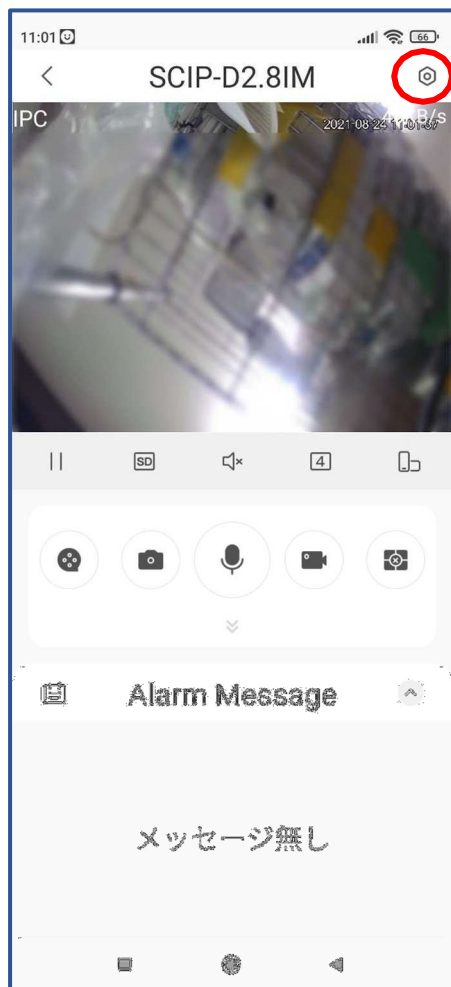


図 3-7

☆IP/ドメイン方式登録

- 1-8)前記の図 3-3 で、IP/ドメインを選択する。
- 1-9)スマホ画面項目に沿って、IP などの必要事項を入力していきます。
- 1-10)図 3-5 の該当する物を選択します。
- 1-11)モード追加画面で、機種名と PW を記載して「Save」する。図 3-6
- 1-12)図 3-7 画面の様に設定したカメラ映像がみれます。
- 1-13)図 3-7 の画面で設定を変更する場合は、赤丸印の設定をクリックして実施する。
※例えばチャンネル名変更/機器削除等
- 1-14)図 3-8 の画面の様に表示チャンネル数変更(赤色○印部操作)が可能です。

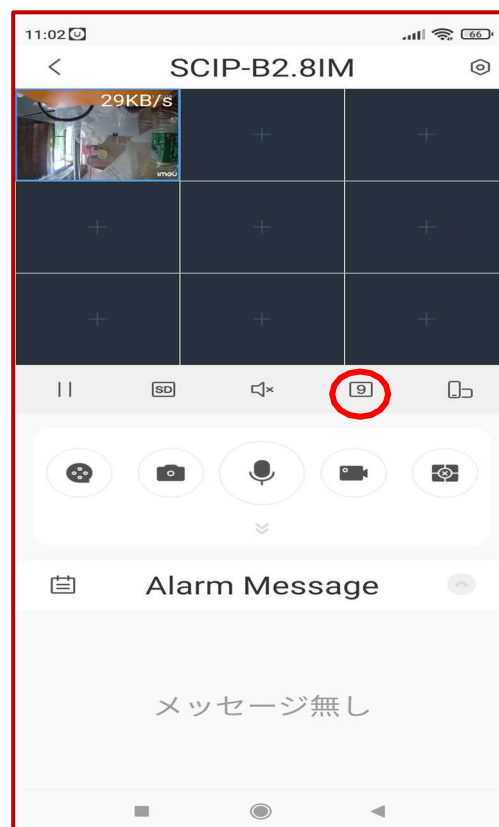


図 3-8

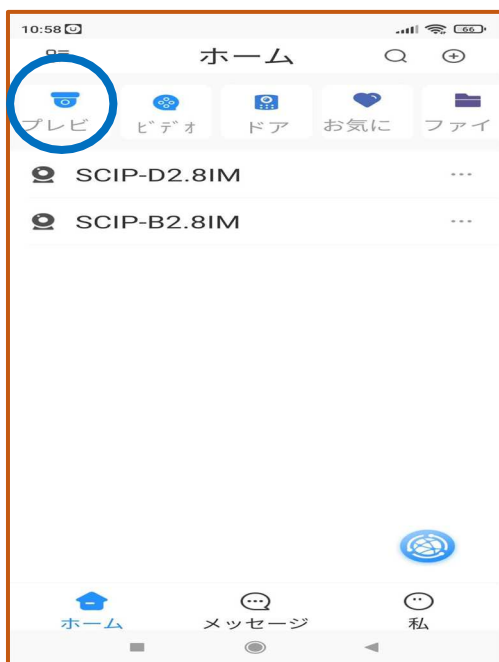


図 3- 9

2)図 3-9 に於けるプレビューについて

プレビュー→登録された DVR 又はカメラの映像を出す。

2-1)図 3-9 で、プレビュー-をクリックする。

2-2)図 3-10 画面に成るので、緑色枠をクリック。

2-3)図 3-11 画面で、閲覧したい DVR/カメラを赤色枠の中から選択します。

2-4)ライブビュー開始を選択

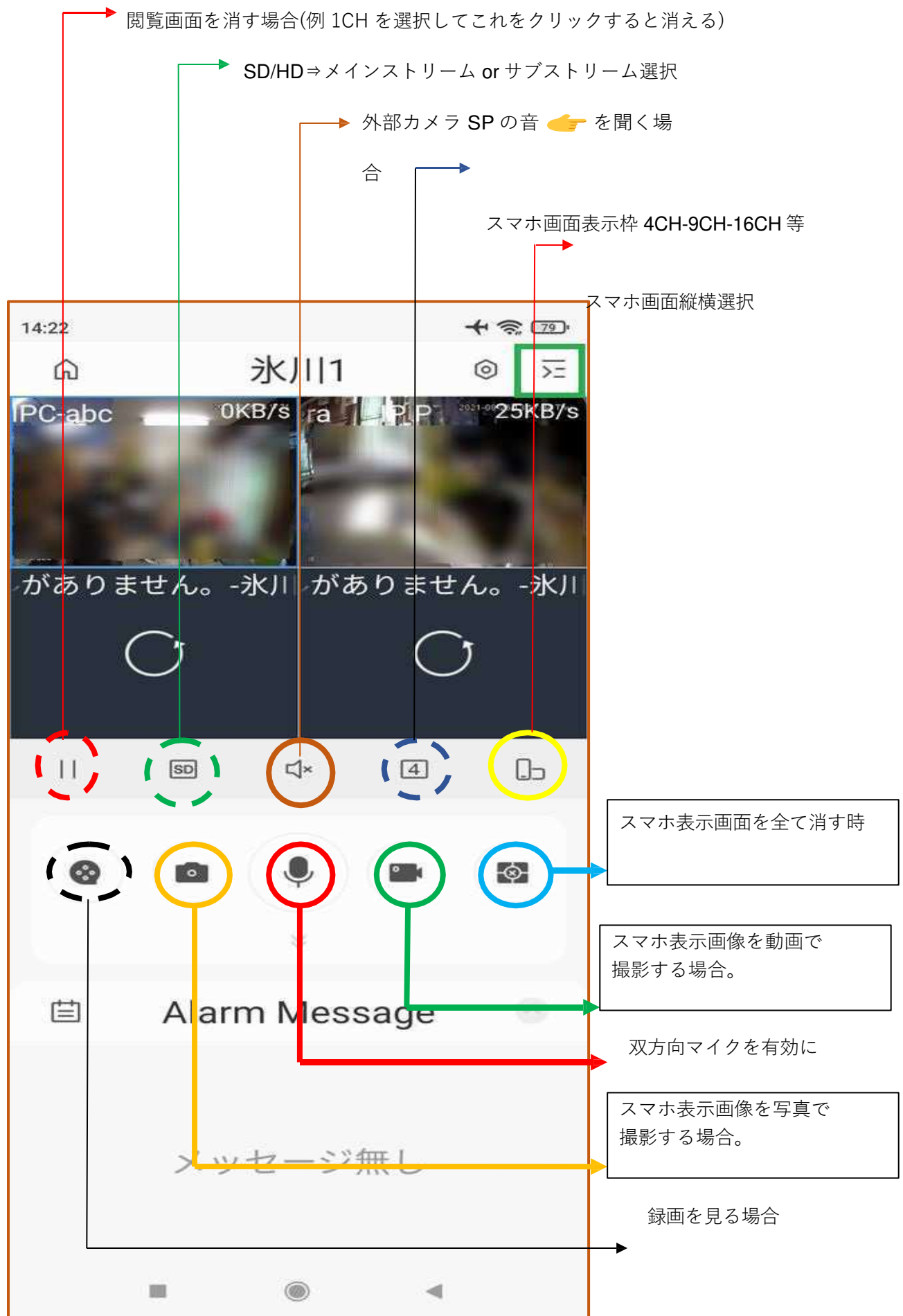
★閲覧画像が多いと処理能力の関係でフリーズ
しますので注意のこと。

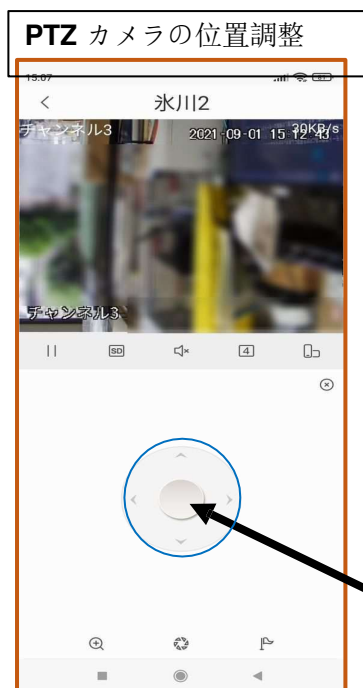


図 3- 10



図 3- 11





3) 上図の赤色○印の **PTZ** カメラ位置調整

PTZ カメラの上下左右の調整を行う。

3-1) 図 3-12 で、中心を押しながら、動かしたい方向に指を持って行きます。

3-2) 図 3-12 での画面が移動する。

図 3- 12

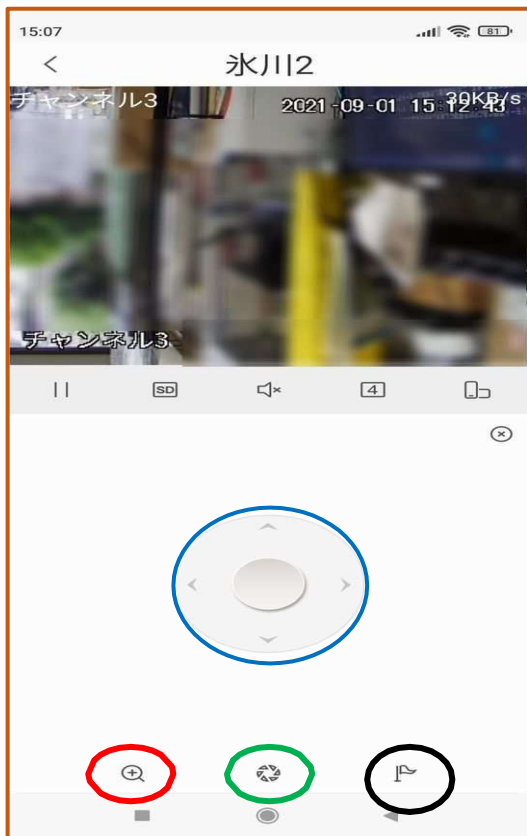


図 3- 13

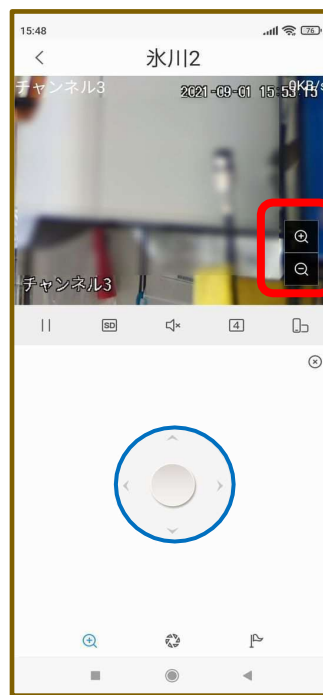


図 3- 14

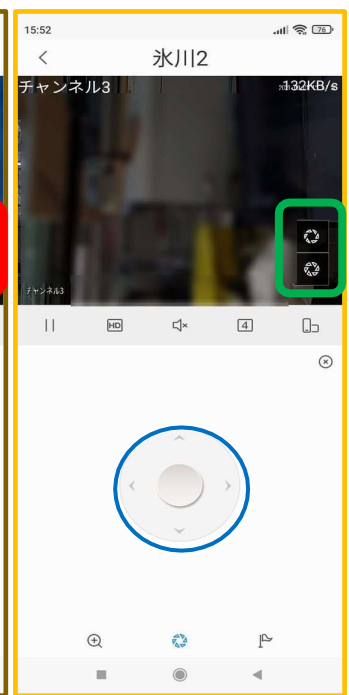


図 3- 15

- 4)図 3-13 に於ける **ZOOM**「赤色○」調整及び露出調整「緑色○」
- 4-1)図 3-14 で、**ZOOM**の場合、画面に合わせて、拡大又は、縮小を赤色四角のツマミにより調整をする。
- 4-2)図 3-15 に於いて、緑色四角のツマミにより画面露出調整をする。
- 4-3)図 3-13 の黒丸部の説明は省略

図 3-16

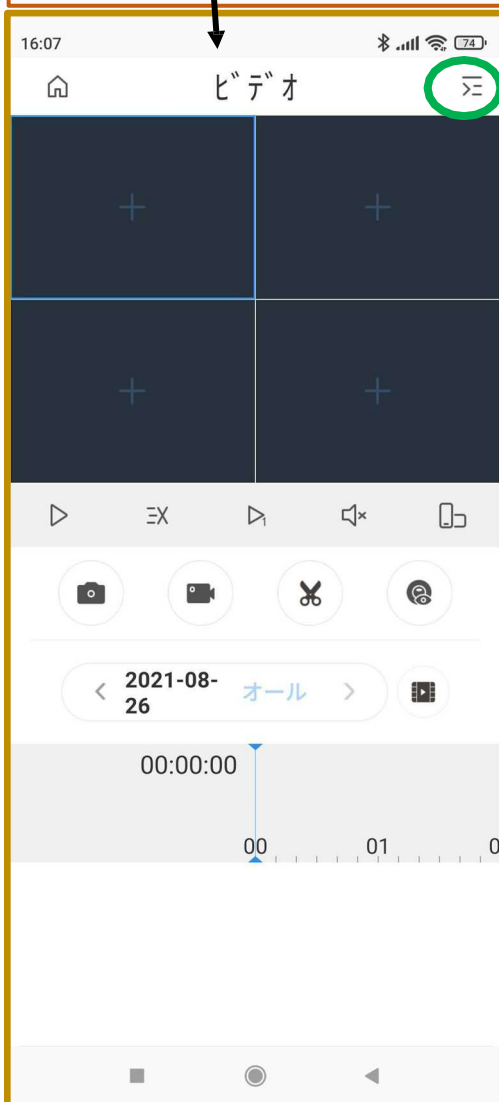
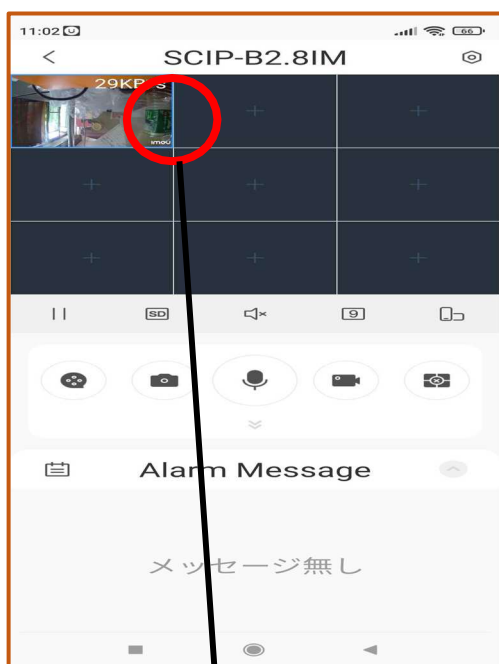


図 3-17

5)図 3-16 に於けるビデオについて

ビデオ→記録された DVR 又はカメラの映像を出す。

5-1)図 3-17 で、ビデオをクリックする。

5-2)図 3-17 の→画面に成るので、緑色枠をクリック。

5-3)閲覧したい DVR/カメラを選択します。

5-4)確認したい時間帯を図 3-18 の操作を行い、動画再生が行われます。

※必要に応じて、図 3-18 の緑色点線四角内のアイコンを操作して、早送り/音👉/静止画/動画等の動作可

★ドア/お気に入り/ファイルの説明は省略

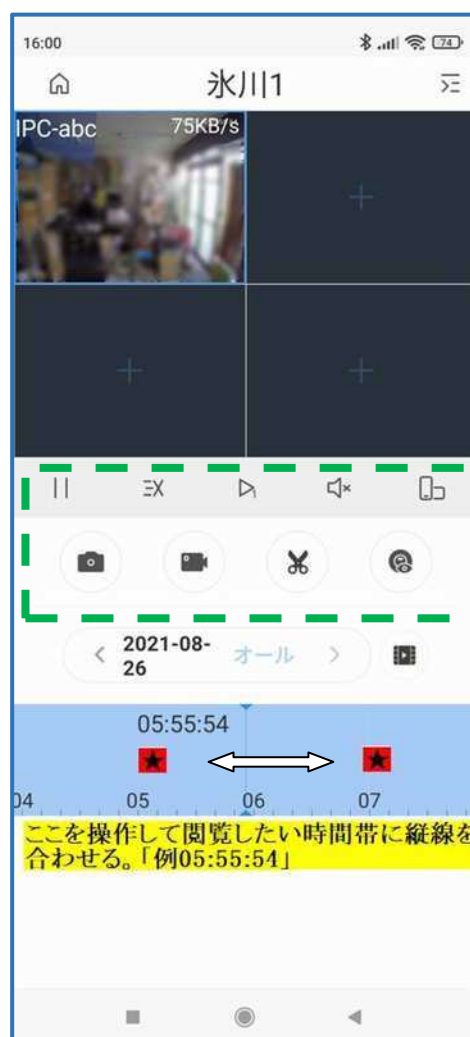


図 3-18



図 3-19

- 6) 図 3-19 の赤色四角に於けるメッセージについて
 6-1)何かソフト上連絡事項があればコメントあり
 7) 図 3-17 の赤色四角に於ける「私」について
 7-1)図 3-20 の画面に成るので、必要に応じて
 操作すること。



図 3-20

4 双方向操作時に於ける注意

下図の様に双方向マイクボタンには意味合いがあるので、用途によって注意すること。

社内検証した上、CVIカメラとレコーダーの双方向通話は元々対応してないので、DMSSに登録しても、カメラとスマホの通話はできません。
ただレコーダーとスマホの双方向通話は可能です。

